

中山晋平記念会

◆会員募集◆



中山晋平記念会は、中野市が生んだ偉大な作曲家、中山晋平先生の偉業をたたえ、その業績を後世に伝えるとともに、音楽文化の向上を図ることを目的に、昭和39年に発足しました。

<中山晋平記念会の主な事業>

■中山晋平記念音楽賞作曲募集・入選曲発表会

長野県内と中野市の姉妹都市（宮城県仙台市、茨城県北茨城市、大分県竹田市）及び知音都市（新潟県糸魚川市、島根県浜田市）の小・中・高生を対象に作曲募集を行い、毎年200曲を超える応募曲の中から優秀賞などを選び、その発表会を開催しています。発表会では、プロの音楽家を招き入賞選曲を歌っていただき、記念公演も行っています。

■会員研修

晋平音楽の知識を深めるとともに、会員の親睦・交流を図るため、コンサート鑑賞会などを開催しています。

■総会

毎年度の総会では、プロの音楽家をお呼びしアトラクションも開催しています。



入会案内

●一般会員 1,000 円/年 ●特別会員 5,000 円/年・10,000 円/年

会費納付方法 現金または口座振替

※下記の用紙にご記入の上お申し込みください

【問い合わせ・お申込み】

中山晋平記念会事務局（中野市くらしと文化部文化スポーツ振興課内）

〒383-8614 長野県中野市三好町一丁目3番19号 電話 0269-22-2111（内線394）

Eメール bunshin@city.nakano.nagano.jp

お名前	電話番号
ご住所	会費納付 現金 ・ 口座振替
会費種別	



<晋平プロフィール>

一世を風靡したヒット曲や誰もが口ずさんだあの唄この唄。
 歌謡曲や童謡、新民謡など、大正から昭和にかけて、およそ3,000曲もの
 時代のうたを作り日本の音楽史に刻み込んだ晋平メロディー。
 日本人の心の郷愁として今も歌い継がれています。

中山晋平の 偉業を 未来へ！

♪ 童謡

背くらべ、シャボン玉、肩たたき、
 てるてる坊主、兎のダンス ほか

♪ 歌謡曲

カチューシャの唄、ゴンドラの唄、
 東京行進曲、銀座の柳 ほか

♪ 新民謡

東京音頭、中野小唄、須坂小唄、
 飯山小唄、野沢温泉小唄 ほか



明治

大正

昭和

平成

令和



〔年譜〕

明治20年 3月22日 長野県下高井郡新野村（現 中野市新野）に生まれる
 明治37年（17歳） 下高井郡中野尋常小学校、延徳尋常小学校の代用教員となる
 明治38年（18歳） 上京して島村抱月の書生となる
 明治41年（21歳） 東京音楽学校（現東京芸術大学）予科入学
 大正3年（27歳） 「カチューシャの唄」作曲、以降多くの作品を世に送り出す
 昭和2年（40歳） 母校日野小学校にピアノを寄付
 「中野小唄」作曲
 昭和17年（55歳） 日本音楽文化協会理事長に就任
 昭和23年（61歳） 日本音楽著作権協会会長に就任
 昭和27年（65歳） 12月30日 すい臓炎のため永眠



あなたも会員になりませんか。

♪ カチューシャの唄

カチューシャかわいや わかれのつらさ
 せめて淡雪とけぬ間と 神に願いを（ララ）かけましょうか
 カチューシャかわいや わかれのつらさ
 今宵ひと夜に降る雪の あすは野山の（ララ）路かくせ
 カチューシャかわいや わかれのつらさ
 せめて又逢うそれまでは 同じ姿で（ララ）いてたもれ

カチューシャかわいや わかれのつらさ
 つらい別れの涙のひまに 風は野を吹く（ララ）日はくれる
 カチューシャかわいや わかれのつらさ
 広い野原をとぼとぼと 独り出て行く（ララ）あすの旅

